

あるってくるぶニュース

NO. 13 1999.12.06

『あるってくるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで非営利組織の『あるってくるぶ』(Arte club) の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・

どなたでも参加できますが、会員には特典があります

① あるってくるぶギャラリー

—活動のご報告—

◇ 和田 章展『陶』

1999年11月18日～28日

秋、ゲストは『陶』の和田さんでした。一見すると金属と見えるような色の陶で、しかも土ではなく釉薬で発色しているものでした。板状にした粘土に象形文字を刻印し、さらにそれをつぶして消していく過程で、立体に組んで、焼き上げるという作品で、厚さが均一でないため、焼成には大変なご苦労があったようです。刻まれた印しを消していく行為の瞬間を陶に求めた作品は、縄文の雰囲気が濃く漂うもので、私達のDNAにも同じ印しが刻まれているような気がし、日々の気ぜわしい生活のなかで自分でそれを消しているのではないか、と自分の日常生活を振り返る1週間でした。



あるってくるぶ 組曲

高橋道弘

10・降りそぞぐもの

藤井龍徳 '99.6.4(金)

火山灰土がつまる。花粉がつまる。落ち葉が積まる。
排気ガスがつまる。放射能がつまる。人工の放射能も。

広島、長崎にもつまる。マグロ船にもつまる。
南極にもつまる。
足利、川越にもつまる。森にもつまる。
河原にもつまる。

パラソルにもつまる。ハエにもつまる。
アリにもつまる。
家の中にもつまる。電線にもつまる。地中にもつまる。

海にもとけこみ、海底にもつまる。魚にもつまる。
庭にもつまる。手にもつまる。
体の中にも、つもっていく。

何万年かあとで、発掘する人々が首をかしげる。
排気ガスや人工放射能の野放しが理解できないから。

—これからのスケジュール—

◆ アルテクラブ企画展

たべ けんぞう展『立体』

鉄、ステンレス、アルミニウム、イルミネーション、モーター他

1999年12月9日～19日の木金土日

9日(木) 夕方5時からのオープニングパーティではバリの民族音楽の楽器、グンデルの演奏があります。

作家プロフィール

現代日本美術展(第21回・23回佳作賞・第22回準大賞)
第28回神奈川県美術展(大賞)／天理ビエンナーレ'93(部門賞)／URBANART#2(中原祐介賞) #3(佳作賞)／環境彫刻&ユーモアアート展'93(奨励賞) '94(優秀賞)／アジアひろしま芸術大賞展(大衆賞・佳作賞)／第5回東京野外現代彫刻展／第16回現代日本彫刻展／国際丹南アートフェスティバル'96(大賞)／韓国・ロスアンゼルス国際アートキャンプ招待／立川国際芸術祭招待

◆ お知らせです

☆ 暮のうつわ、年始のうつわ

金子 道夫 作陶展

'99.12.10(金)～19(日)

第1会場・はるり銀花 10:30～6:30

川越市幸町3-3 0492-24-8689

第2会場・ギャラリー櫻(くぬぎ) 11:00～5:00

川越市連雀町8-1 0492-27-1017

・アルテクラブの発起人で、器を提供して下さっている陶芸家です。

☆ 第8回「明けまし展」

とき・2000元旦～5日 12時～午後6時

(5日は4時まで)

ところ・すみれホール

越生町成瀬442-1 0492-92-2846

冬枯れの田んぼにかこまれた越生に、手づくり作品が集います。陶芸、木工、あけび細工、裂織、草木染、革、和紙、オカリナ、土笛、古代米、竹炭、もち、自然卵、パン、ケーキなど、今年7月三番町ギャラリーに登場して下さった右城眞さんも出展します。

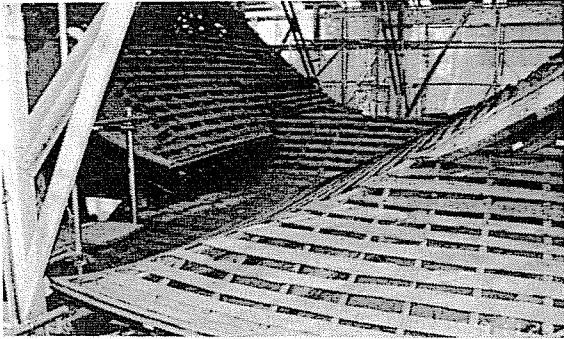
(1)

あるってくるぶ ワークショップ

—活動のご報告—

■川越 広済寺金毘羅堂解体修理現場見学会

1999年11月29日(月) 川越市喜多町5-1
「広済寺金毘羅堂」は建立から180年以上経過しており、近年、風化による損傷が目立ってきたため、現在川越市の補助を受けて解体修理を行っています。担当の大島さんの説明では、解体作業と平行して調査を行い、復元方針を検討し、工事は、平成11年度は解体調査、平成12年度は軸部組み立て、平成13年度は仕上げを中心に行われ、平成14年3月に完成の予定というお話しでした。写真は小屋組みが現れたところ



■アルテ クルブ・トレッキング 11月6日(土)

・とんだ勘違いだったというお知らせです。
妻坂峠より武川岳に行く山道の両側に広がっていた灰色に霞んでいた雑木林は、あれがミズナラだった！ と言う報告が大東植物友の会の高橋さんよりありました。山の植物のサイクルで、あのあたりのミズナラはまだ若木である、ということでした。私達はもっと巨木を想像していましたし、本数も少ないとと思っておりましたので、まさかあれほどの規模で広がっているとは思いもしませんでした。美しい林で、大事に見守っていきたいと思います。

あるってくるぶ コンサート

—活動のご報告—

♪<セルヒオ・レストレポ ギターリサイタル>
和田 章展 オープニングコンサートで、コロンビアの留学生セルヒオ・レストレポさんの演奏がありました。12弦ギターを使った、高音部が軽く走り、低音部の厚い、とても洗練された演奏でした。自国で10年間ギターを勉強していて、今は作曲を学んでいます。東京芸術大学音楽部作曲科への留学期間は来年の3月までということなので、残念ですが、地域の裏側からやって来た若者を支援ていきましょう。当日は、ペルーで教員として働いていらっしゃった宮田さんが通訳を買ってでられ、セルヒオ君を暖かく迎えたいと思っていた私達は胸を撫で下ろしましたが、宮田さんご夫妻にとっても久しぶりのスペイン語で多いに楽しめたご様子でした。

(2)

—これからのスケジュール—

□会場担当ボランティアを募集します！

「あるってくるぶ」はボランティアが自主的に参加して、様々な芸術活動やまちづくり運動を支援している会です。そのなかに会員の1人々がギャラリーのオーナーになる日があります。あなたもそんな支援者として、作家と時間を共有し、新しい自分を発見してみませんか？

- ・12月のたべさんは千葉県大原の方です。遠方ですので、会員でサポートしたいと思います。

	9日(木)	10日(金)	11日(土)	12日(日)
12時～				
16時～19時				
	16日(木)	17日(金)	18日(土)	19日(日)
12時～				
16時～19時				

会場担当者は時間が拘束されます。参加された方には薄謝の他、ポイントを差し上げたいと思います。年末のプレゼントをお楽しみに！

参加を希望される方は草野までご連絡下さい。

□「パラソル・ショップ」のお知らせです！

越生町・縁とせせらぎを守る会の方々が栽培している、有機栽培でもちろん無農薬の野菜を販売します。

12月19日(日) 12:00～14:00

三番町ギャラリー・テラスにて

売上は、守る会にカンパしています。

- ・県立公園「越生さくらの郷」計画は今のところ計画見合わせで、調査のための問い合わせが守る会にあり、県の職員と共に現場を確認していると言うお知らせがありました。さらに、住民からの提案を検討する姿勢が感じられるようで、地域と越生を訪れる方たちのために、パートナーシップを持って計画を進めていただきたいものです。

☆第8回「明けまし展」が開催されます。詳しくはおもてのお知らせをご覧下さい。

□建築見学会のお知らせ

<川越 蔵の会>よりご案内がありました！

都幾川村・武藤家「慈眼坊」見学会

集合 1999.12.12(日) p.m1:00 JR八高線・明覚駅前

- ・個人のお宅なので、先着30名で締め切ります。お早めにお申し込み下さい。
- ・当日車で参加される方は西平の高橋木造建築研究所に置かせていただけるようになりましたので、ご連絡ください。お車でお越しの場合は、地図をお送りします。

詳細は同封のお知らせをご覧下さい。

—これからのスケジュール—

♪<パリの民族音楽・ミニコンサート>

—たべ けんぞう展— オープニングコンサート
パリの民族楽器「グンデル」の演奏があります。

たべさんの作品とともににお楽しみに！

Arte Club

SERGIO RESTOREPO GUITAR RECITAL in KAWAGOE

セルヒオ・レストレポ ギターリサイタル — 和田 章展 オープニング コンサート —

1999. 11. 18 (木) 5:30 pm 開演・無料

会場・川越三番町ギャラリー

〒350-0045 川越市南通町14-3

TEL 0492-26-7735

お問い合わせ・03-3866-0245

PROGRAMME

EGBERTO GISMONDI (1947~) CENTRAL GUITAR (1973)

エグベルト・ジズモンチ

中心のギター

ROLAND DYENS (1955~)

TROIS SAUDADES (1980)

ロラン・ディアン

3つのザウダジ

1. DEDIEE A ALBERTO PONCE アルベルト・ポンセに捧げる
2. DEDIEE A ARMINDA DE VILLA-LOBOS アルミンダ・デ・ビラロボスに捧げる
3. DEDIEE A FRANCIS KLEYNJANS フランゼイス・クレンヤンスに捧げる

TORU TAKEMITSU (1930~1996)

ALL IN TWILIGHT (1988)

武満 徹

すべては薄明のなかで

- I -
II -
III -
IV -

LEO BROUWER (1939~)

SONATA (1990)

レオ・ブローウェル

ソナタ

- I - "FANDANGOS Y BOLEROS" ファンダンゴとボレロ
- II - "SARABANDA DE SCRIBBIN" スクリャービンのサラバンド
- III - "LA TOCCATA DE PASQUINI" パスキニのトッカータ

MARCO A SUAREZ (1974~)

ALEGORIA SOBRE UNA IMAGEN ROTA (1996)

マルコ・ア・スアレス

比喩

〈 セルヒオ・レストレポ コロンビアの大学でギターを学び、現在は東京芸術大学音楽部作曲科在学 〉